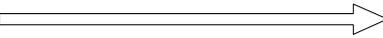
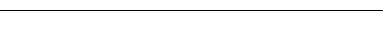
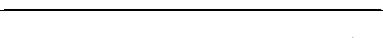


情報活用能力到達目標(例)一覧改訂版

観点	番号	項目内容	小学校・低学年	小学校・中学年	小学校・高学年
A 情報活用の実践力	1	インタビュー	インタビューカード等を用いて、簡単なインタビューをすることができる。	インタビューの手引等を用いて、基本的なインタビューをすることができる。	基本的なインタビューの仕方を身に付け、必要な情報を収集することができる。
	2	図書や新聞などによる情報収集	教科書等を用いて、いろいろな情報を集めることができる。	教科書や図書館の本などを利用して、必要な情報を集めることができる。	教科書や資料集、統計などの各種の資料を活用して、必要な情報を集めることができる。
	3	Web検索	教師と一緒にインターネットで調べることができる。	教師が準備したリンク集や児童用の検索エンジンなどを用いて、調べることができる。	児童用の検索エンジンを用いて、情報を検索することができる。
	4	撮影と画像の加工	デジタルカメラを用いて、目的に合った写真を撮影することができる。	デジタルカメラの画像をコンピュータに取り込み、印刷することができる。	デジタルカメラやスキャナからの画像をコンピュータに取り込み、他のソフトで利用することができる。
	5	マウスやキーボードの操作	マウスを用いて、文字の入力や簡単な作図をすることができる。	マウスを用いた作図及びキーボードからの文字入力での簡単な文書作成(単語入力)をすることができる。	テーマに基づいて、マウスによる作図及びキーボードからの文字入力での簡単な文書を作成することができる。
	6	コンピュータによるグラフ作成			コンピュータを活用して、目的に応じて簡単なグラフを作成することができる。
	7	Webページ作成			ホームページ作成ソフト等を利用して、簡単なWebページ(文字・画像・リンク等)を作成することができる。
	8	資料の作成と発表	調べたことを絵や簡単な文章にまとめ、発表することができる。	簡単な発表資料を広幅用紙等で作成し、相手に分かりやすく発表することができる。	コンピュータを活用して、図や表などが入った簡単な発表資料を作成し、相手に分かりやすく発表することができる。
	9	電子メールの操作		電子メールの送受信をすることができる。	メールアドレスや件名を入力して電子メールを送受信することができる。
B 情報の科学的な理解	1	ソフトウェア		目的に応じて様々なソフトウェアがあることが分かる。	ソフトウェアの基本的な機能が分かる。
	2	周辺機器		コンピュータと周辺機器を接続して目的の処理をしていることが分かる。	スキャナやプリンタなどの周辺機器の役割を説明することができる。
	3	インターネット		情報を収集するためにインターネットの利用が有効であることが分かる。	情報を発信するためにインターネットの利用が有効であることが分かる。
	4	問題解決の手順			問題解決の方法を考え、解決する手順が分かる。
	5	コンピュータ活用			目的に応じてコンピュータを活用することが有効であることが分かる。
	6	マルチメディア			コンピュータで文字や絵・写真などを組み合わせることで扱うことができることが分かる。
	7	コンピュータの特性と仕組み			コンピュータの基本的な構成と役割が分かる。
	8	コンピュータによる情報伝達			情報伝達手段としての電子メールの特徴が分かる。
	9	情報の表現方法	調べた数を表やグラフを使って表すと、分かりやすいことが分かる。	情報の表現方法としての表や棒グラフ、折れ線グラフの特徴が分かる。	情報の表現方法としての円グラフ、帯グラフの特徴が分かる。
C 情報社会に参画する態度	1	情報発信	自分の思いや考えを相手に伝えようとする。	相手に情報を正しく伝えようとする。	相手の気持ちを考えて、情報を発信しようとする。
	2	個人情報の保護	知らない人から名前や電話番号などを聞かれても教えないようにする。	名前や電話番号などを悪用した犯罪があることを理解し、それらの個人情報を保護しようとする。	個人情報を公開することで様々な問題が起きることを理解し、個人情報を保護しようとする。
	3	情報の真偽の判断	自分が受け取った情報は正しいか、大人に聞いたり、たずねたりして確かめようとする。	インターネットの情報には、正しくないものもあることを知った上で、情報を収集しようとする。	受け取った情報が正しいかどうかを意識しながら、情報を収集しようとする。
	4	コンピュータ犯罪	約束や決まりを守り、インターネットやコンピュータなどを正しく使おうとする。	インターネットやコンピュータを使うことの便利さと危険性について考えながら、正しく使おうとする。	インターネットや携帯電話を使った犯罪があることを理解し、正しく使おうとする。
	5	情報モラル	よいことや悪いことを区別し、約束や決まりを守ろうとする。 自分や友だちの作品などを大切に扱おうとする。	情報モラルの意味を知り、正しい行動が取れるようにする。 友だちの作品や写真などを利用するときには、許可が必要であることを考えながら、正しく利用しようとする。	情報モラルに反した行為や内容を判断することができる。 著作権・肖像権等の存在を知り、著作物などの権利を尊重しようとする。

➡ は、学習指導要領や教科書等に内容が示されており、指導することも考えられる。

➡ は、児童・生徒や学校の実態に応じて、指導することも考えられる。

中学校	高等学校
効果的なインタビューをし、必要な情報を収集することができる。	
教科書や資料集、新聞等、多くの情報収集手段を活用して情報を集めることができる。	図書館等のデータベースへのアクセスによるオンライン検索や電子辞書等のオンディスク検索を利用して、必要な情報を収集することができる。
複数の検索エンジンを用いて、キーワードを自分で考えて、検索することができる。	検索エンジンの種類を使い分けながら、AND・OR・NOT検索を組み合わせ、効率的に検索をすることができる。
画像(静止画)をコンピュータに取り込み、加工・編集することができる。	コンピュータを利用して、二つの画像を合成することができる。また、動画の編集をすることができる。
テーマに基づいて、作文やレポートを書くことができるとともに、マウスを使って効率的な編集を行うことができる。	キーボードのキーの機能(ショートカットキーやファンクションキー)を使い分け、タッチタイピングで作文やレポートを作成することができる。
コンピュータを活用して、集めた情報を適切な表やグラフにまとめることができる。	グラフタイトルや項目、凡例などを挿入し、分かりやすいグラフを作成することができる。
デザイン等を考えながらWebページを作成することができる。	ウェブアクセシビリティに配慮したWebページを作成することができる。
コンピュータを活用して、相手に分かりやすい表現で発表することができる。	発表に合わせた配布資料等を用意し、手で参考にしてもらうなどの工夫をして発表をすることができる。
ファイルを添付した電子メールの送受信をすることができる。	署名を付けた電子メールを送受信したり、To、CC、BCCを使い分けたりすることができる。
ソフトウェアの種類と機能を説明することができる。	オペレーティングシステム(OS)の役割を説明することができる。
周辺機器の種類と機能を説明することができる。	周辺機器を組み合わせる手順を説明することができる。
インターネットの特徴や仕組みを説明することができる。	IPアドレスやDNSサーバの役割などWWWによる情報の閲覧の仕組みを説明することができる。
問題解決の方法や手順の要点を説明することができる。	目的に応じた問題解決の方法や手順を説明することができる。
コンピュータを用いることの長所・短所を具体的に述べるることができる。	コンピュータによる情報処理の特徴を人間とコンピュータの情報処理を対比させ、説明することができる。
マルチメディアの特徴と活用方法が分かる。	マルチメディアの利活用方法が分かり説明することができる。
コンピュータの主要構成要素(入力、記憶、制御、演算、出力)について、それぞれの役割を説明することができる。	コンピュータ内での情報処理の仕組みを説明することができる。
情報伝達手段の特徴が分かる。	情報伝達の仕組みと情報伝達方法の工夫を説明することができる。
情報の表現方法としての一次関数、二次関数のグラフの特徴が分かる。	情報の表現方法は一通りではなく、目的や条件に応じて使い分けられていることが分かる。
自分の発信する情報について、安全性やマナーの視点から見直し、より分かりやすい情報を発信しようとする。	重要な情報を発信する際には、暗号化したり、別の手段を用いたりしようとする。
個人情報に配慮して情報を発信しようとする。	個人情報の保護の重要性和個人の責任を意識した上で、情報を送受信しようとする。
情報の真偽を確かめながら情報を収集したり、発信したりしようとする。	情報の信頼性と信憑性を意識し、正確な情報を送受信しようとする。
インターネットや携帯電話を利用した犯罪があることを理解し、適切に対応しようとする。	個人認証や暗号化の必要性を理解し、インターネットや携帯電話を介した犯罪へ具体的に対応しようとしている。
情報モラルに反する情報に対し、基本的な対応の仕方が分かる。	情報モラルに反する行為の実態を知り、理解した上で防止策を議論し、適切に対応しようとする。
著作権・肖像権・知的財産権等の意味を知り、その権利に気を付けながら情報を加工しようとする。	著作権・肖像権・知的財産権等の内容を知り、それらの権利に配慮しながら情報を加工しようとする。